

高橋しんすけ 議員報告

みんなの党 高橋伸介：1953.4.25生れ、A型。佛教大学卒。京都信用金庫に10年勤務後、染色補正技能士として京都の伝統産業に従事。市民オンブズマンを経て1999年より市議会議員。後援会組織を持たず、一切合切を一人でこなす完全ひとり選挙の手法を貫き現在4期目。行財政改革系・オンブズマン系の市議会議員。平成22年9月より改革政党みんなの党。

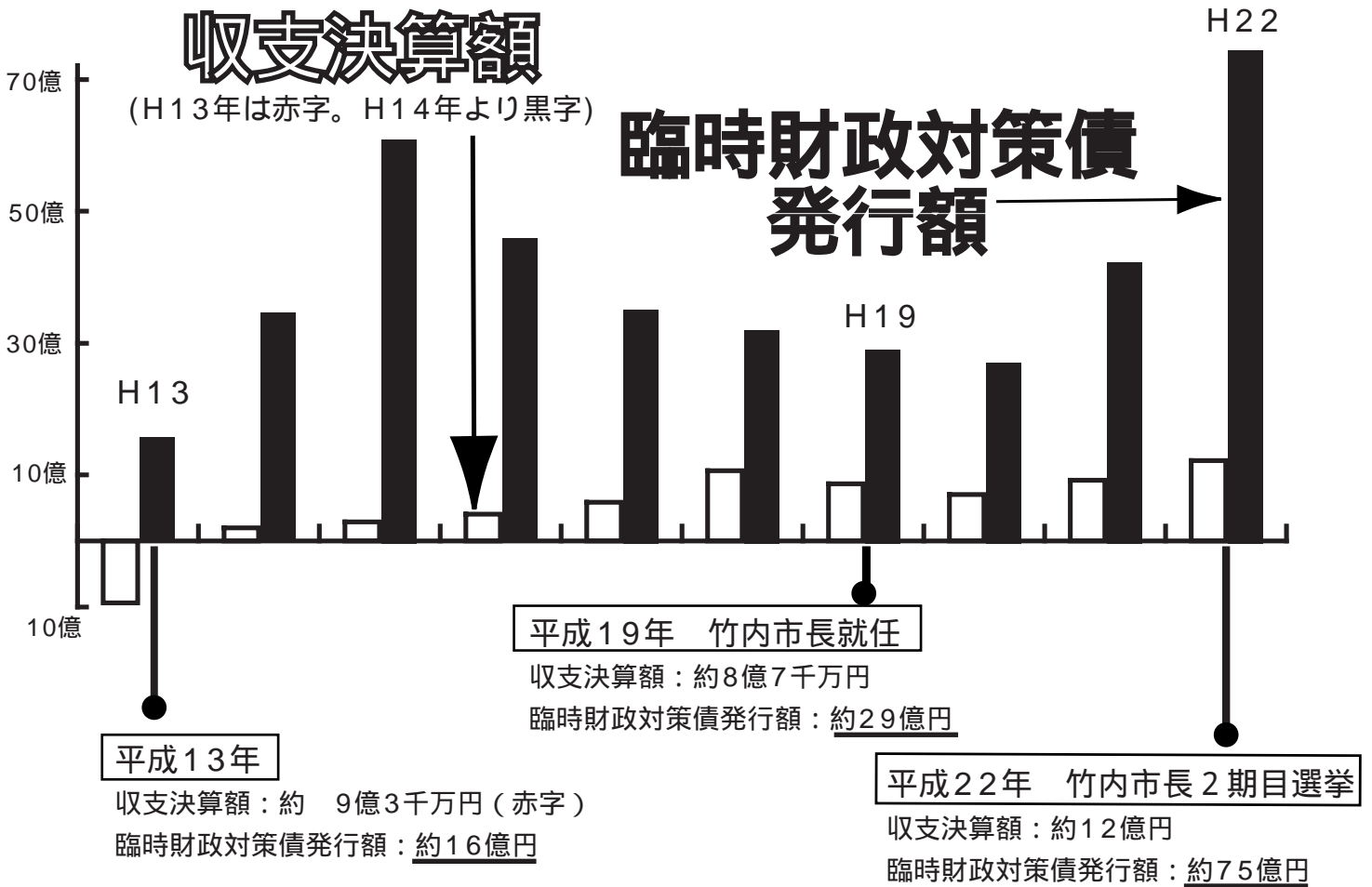


議員室から発信中！

高橋しんすけ で 検索

枚方市役所議会事務局〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 tel 072-841-1221 自宅〒573-1106 枚方市町楠葉(まちくずは)2-27-6

t u† CBMKJ HGF DSA ut CBMKJ HGF Dt ut CBMKJ HGF DSA



ホントの黒字？

上のグラフは、枚方市の年度別の黒字額と臨時財政対策債の推移表です。

臨時財政対策債は、平成13年度から導入された臨時的措置です。10年前までは国債を発行して地方交付金を交付していましたが、国の財政悪化から国債発行が限られてきたため、不足分を自治体が臨時に財政対策として発行(借入)することが出来るようにしたものです。

原則として自治体が借りた額は、国が20年償還で元利とも次年度で地方交付金に算入(補填)されることとなっています。

端的にいえば、親に財政力が無くなったので、子に一括で支払うことが出来なくなりました。そこで子に立て替え借金をさせるようにした制度ということが出来ます。・・・ほんとは国は危機的状況にあるということです。

このことは、後の方で改めてコメントします。

市議選を終えて

ご報告が大変遅れましたが、市議会議員選挙が4月24日に終わり、4期目を2位当選させていただきました。今後も安心の自治体をめざすべく、3期12年の経験をベースに行財政改革と情報公開と既得権排除を徹底的に進めながら自立を基本とし、安心で活力ある枚方市をめざしてまいります。

4月の選挙後、臨時議会、本議会と続き、休む間もなく市長選挙が8月28日に終わりました。真夏の選挙は最もタイミングが悪い時期でありましたが、枚方市の将来を託す重要な選挙でありました。しかし、投票率は前回より約3%上回ったものの39.6%と低迷しています。私自身は過去の議員報告で指摘してきたとおり行財政改革は以前より後退と認識しており、メリハリがあり改革に前向きな市政運営を願っているところです。そのような観点から私は中司前市長を応援いたしました。中司前市長は裁判を抱えながらの困難な選挙となり敗れました。選挙の結果が全てです。同時に選挙で選ばれた政治家が行った全ての結果の最終責任は有権者が負うことが民主主義のルールです。

今後、議員として市政の財政が悪

化することのないよう全力で努力するとともに41万市として誇れるまちをめざしてまいります。

まっとうな危機感

さて、皆さんは国外においては先進国の同時不況、国内においては少子高齢化の進展、急激な円高、長期にわたったの構造的な不景気が続く中、東日本大震災、そして福島原発事故などで相当な危機感をお持ちの事と思います。その危機感を政治が反映していない現実を真剣に凝視されていることと思います。

福島原発につきましては私のホームページの日記7月29日に児玉龍彦氏の真実の証言をリンクしておりますのでご参考ください。私は3月16日のホームページの「ざつくばらん談話室」で「メルトダウン（炉心溶融）となりました」といしましたが、後日そのことが明らかとなりました。プライベートバンカー達の方が正確な情報をつかんでるということです。日本政府の情報公開、情報共有がまだまだ進んでいない現実を目の当たりにしました。枚方市ではそのようなことがないようチェックしていきます。

財政につきましては7月26日の日経新聞コラムで津田廣喜早稲田大学教授が端的に述べられていますので以下引用します。

「財政支出における社会保障の比率が上昇し続けている。国の一般会計予算（当初）に占める社会保障関係費の割合は、二十年前の1991年度が17%、十年前の2001年度が21%だったが、今年の2011年は31%にのぼっている。社会保障関係費の大半は年金、医療、介護だから、制度が現在と同じであれば、高齢化がさらに進むにつれてこの割合が一層高くなることは間違いない。

因みに、今年度で2番目に大きいのは国債費で一般会計の23%、3番目が地方交付金等で18%であり、この3つで全体の73%を占める。残りの27%に教育、科学技術、防衛、司法、社会資本、エネルギー、中小企業、農林水産、ODA、外交、通信など、他の予算一切が詰まっているわけである。

社会保障のような「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」（憲法第25条第1項）をお金の話と結び付けて議論するのはおかしい、という発想が一部にあるかもしれない。しかし、今述べたような現実と財政の将来見通しを前にすると、今後も

社会保障制度が国民の生活を支える基盤としての役割を果たすとともに、若い世代の負担をできるだけ軽減するためには、好むと好まざるにかかわらず、財政と社会保障を一体のものとして考えていかざるを得ないのではないか。

かつて厚生次官を務め、退官後間もなく病没された吉村仁さんが、「医療費は財政問題である」という趣旨の発言をされたことがある。当時は、財政当局と対抗する立場にある人としてはどんなものかと物議を醸した筈だが、今、その先見性が改めて思い起こされる。」

少し長くなりましたが私の思いでもあるので引用させていただきました。たぶん多くの市民の方もこのような現実を感じておられるところだと思います。

国の財政は危機的状況が続いている中、自治体財政も同じ傾向にあります。年々個人市民税が減少しており、生活保護費など扶助費は大幅に増加してきています。将来の見通しは赤ランプが点滅しています。詳しくは決算特別委員会が終わったあと次号にてご報告していきたいと思えます。

さて、選挙を見ればその人がどのよ
うな政治をめざしているかがわか
るといわれています。改選後、最初
のご報告ですので私の政治姿勢を再
度ご確認いただくために選挙報告も
いたします。当初、今回の選挙では
大変厳しい結果を予想していました。
それは、この4年間、大林組による
談合事件から始まり、市長がかつ
てから行財政改革も進展せず、また
自身の身体上のトラブルに見舞われ
満足な駅前でのご報告活動が出来て
いなかったからです。また、加齢に
より体力も著しく減少していました。
それに私の運勢は大殺界！それも議
員選挙の4月は停止！とほほ・・・
で始まった今回の選挙日記をご覧下
さい。

選挙日記2011



4月16日(土) 選挙前日

選挙シルバーカー(選挙ウォーカー
2型改)のパーツなど整備。役所か
ら、マニフェストや日記などホーム
ページに最後のアップ。

4月17日(日) 告示日 晴れ

6時15分起床。選挙にて告示の受
付。ポスター位置のくじ引きや備品
の受取り。シルバーカーを押して出
発。マイク配線の不調などトラブル

はあるが、中の芝、町楠葉、スーパ
ー中川前など廻る。
(しかし、府会議員選挙から続い
ての市議選で体力の貯金なし。)

4月18日(月) 曇り雨

5時起床。くずは駅前で活動後、体
調不良で選挙活動は中止、役所で仕
事。

4月19日(火) 5時起床 朝にア
ラレ降る

朝の駅前活動終了後、選挙中止 役
所へ。

4月20日(水) 大変寒い 雨

5時起床。朝の駅前活動後、体調不
安で選挙は中止、役所へ。

4月21日(木) 晴れ

5時起床。駅前で活動後、楠葉北側、
南楠葉、船橋など廻つてくずは駅へ。
ふくらはぎピクつく。

4月22日(金) 曇り

5時起床。駅前で活動後、体調が悪
く選挙は中止、午後から役所へ。

4月23日(土) 朝から雨

6時起床。選挙最終日であるが右
肘の痛みが取れず、傘を差して選挙
ウォーカーを操作出来ないため選挙

は運休。これで私の選挙は実質昨日
の朝で終了。1時間余分に寝る。午
後から役所へ。

4月24日(日) 投票日 晴れ

7時起床。今回は開票場へは行かず
自宅待機。11時10分4845票2位
当選確定との電話連絡が入る。

実質、日曜と木曜の2日間の選挙
であったが大変疲れた。4月1日か
らズーと選挙をしてきたようで(

府議会選挙の為) 精神状況はハイの
ままだ。(・・・以上日記終わり)

今回行われた枚方市議会議員選挙に
おける選挙運動に関する支出金額の
制限額は9,600,000円ですが、私は
選挙事務所もなく歩くだけの完全ひ
とり選挙なので・・・

ポスター作成費

262,321円(公費負担)

ポスター貼付費 100,000円

選挙公報作成費 5,250円

(以上選挙届け出済み)

・・・前回同様、公費負担分を除き
実質支出は合計105,250円、250円で
済みました。

因みに、失礼ながら一票あたりの
コストは、105,250円÷4845票=
21円72銭でした。前回2007年

選挙では31円30銭でしたので6円
58銭のコストダウンとなりました。
より強力で良質な票をいただきました。
た。

選挙日記の詳細はホームページで
ご報告いたしておりますが、なぜこ
のようなことまでも皆様にご報告す
る理由は、どのような選挙を行うか
がどのような政治を行うかに表裏一
体でリンクしているからです。

国政では長い間、国会議員は地元
に対しての利益誘導に奔走されてい
ました。また、有権者も地元発展を
期待してそのような議員に投票して
来ました。それにつられて多くの官
僚は国の将来よりも自分の所属する
省益や天下り先確保に重きを置くよ
うになってきました。

しかし、バブル崩壊の90年代以
降、政治の役割は変わりました。国
會議員は地元よりも国全体の将来を
政策に反映させる立法機関員として
の仕事に重きを置くことが求められ
ましたが、残念ながら議員も有権者
の意識も変わらず、「おらが地元最
優先」で選挙も政治も変わってきま
せんでした。選挙を勝つための顔つ
なぎ口利きによる皆様のお役にたつ
政治が続いています。この事は地方
の選挙、政治も同じです。
次ページへ続く

(前ページより)

今までの選挙は、あれやります、これもやります、地域の皆様のご要望に応える議員を！。これからは、あれやめます、これも見直します、地域に本来に必要なことをお考えください！自助、共助、公助の役割をハッキリさせ自立を基本とする政治へ。このことが最も必要な時期であると考えています。

ひびく

広報ひらかた8月号を見てビックリしました。3年先に開院する新市民病院の事に4ページ使ったあと、平成22年度決算の速報値が広報に掲載されていたからです。

この速報値には9年連続の黒字の事や、イイ数字が麗々しく書かれています。・・・そして最後に、8月28日の市長選挙に行きましょよとなってます。おいおいおい、この広報・・・ちょっとやりすぎですよ。誘導というよりも誤導でしょう。なんぼ選挙直前といってもこれは・・・

元々市民病院建て替え計画は、中司前市長が3次救急関西医科大学附

属枚方病院の誘致とともに計画されたもの。私どもはある時点まで市民病院の廃院(廃止)を主張していましたが、前市長が病院財政の健全化を約束されたので、建て替え計画も認め今日に至っています。

また、決算の速報値については、広報が配布された時点では監査委員会において詳細に審査されており、議会の承認も得られていない状態です。チェック機関である議会に対して速報値として報告することはまだしも、公に発表することではないと考えます。

内容からしても選挙用なのか都合のよい限られた数値しか発表されていません。実はトップページグラフのように臨時財政対策債が74億7199万円も突っ込まれているにもかかわらずその事実についての記載がないことは、明らかに誤導と思われる。

臨時財政対策債は、国が地方交付金をルール通り自治体に回せなくなつたためその分を自治体が立て替える制度です。本当は国は財政破たん状態を認め地方交付金を減額すべきなのです。しかし、選挙を考えた時、自治体の反発を恐れそれができない。自治体が肩代わりすることにより国の破綻の実態を先延ばしして

いるにすぎません。現状のままでは高度成長期のような右肩上がりの税収増はありません。

「臨時」が十年も続けば臨時ではありません。自治体もそのような危うい制度にいつまでも乗っかっていく場合ではないと考えます。自立のためにも行財政改革を強く主張してまいります。

私は市政においては公務員改革を含む行財政改革を強く主張し続けています。そのことに対して「高橋は公務員バツシングばかり行っ」と言われがちですが、公務員改革は「公務員バツシングではありません。行政コストを引き下げながら市民サービス向上を図ることが目的です。そのためには非効率な事が多い「直営」(全て公務員によるサービス)よりも、「多様化」を進め、公務員の身分保障という日本の身分制度を廃止し、市民のために汗を流し、頑張る公務員が評価される制度が必要と考えています。また、「多様化」により、より多くの方々のチャンスを生むことでもあります。残された時間はわずかですが全力で頑張っています。

議員のホームページや議員報告(ペーパー版)は政務調査の目的により運用しております。市政に関するご意見、ご提言、ご感想をお寄せ下さい。尚お名前やご住所は他の目的を持って使用することはありません。

くずは駅前報告～ライブ通信

(2011.10現在 648回目のご報告)

くずは駅周辺4ヶ所で朝6:30～8:30

t u t C B M K J H G F D S A u t C B M K J

駅前報告再開できておりませんがガンバリマス!